

# 新体制の活動方針

## - ポイント -

証券取引等監視委員会

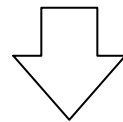
Securities and Exchange Surveillance Commission



# 監視委員会の使命

監視委員会の使命は

- 取引の公正の確保を図り
- 市場に対する投資者の信頼を保持することである。



直接金融市場の発展が求められている現在、監視委員会の果たすべき役割は、これまでも増して重要なものになっていると認識

# 証券市場に対する信頼は保持されているか？

## 現状分析 3つの不信

### •市場仲介者に対する不信

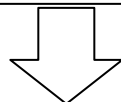
個人投資家は、証券会社やその役員・職員に対して、手数料稼ぎに利用されたり、複雑な商品売り付けられて損をさせられるのではないかと不信感や、一部の特定顧客だけ儲けさせているのではないかと不信感を有している。

### •市場参加者に対する不信

個人投資家は、我が国証券市場が、いわゆる仕手筋や外国勢力など市場のプロに操られていて、自分が投資をしても損をするだけではないかと不信感や、企業等の内部情報を知っている者だけが不当に利益を得ているのではないかと不信感を有している。

### •監視当局への不信

監視当局の体制・ノウハウが不十分であり、不公正な取引が見逃されているのではないかと不信感や、社会的問題になっている事案に対し、迅速に対応していないのではないかと不信感があることも事実。



**『個人投資家』の信頼が低いのが現状**

# 新体制の目標

こうした現状を踏まえ、

個人投資家の証券市場に対する不信感の解消

を図るため、

個人投資家の保護に全力を尽くす

ことを新体制の最大の目標とする。

# 戦略目標

この目標を達成するための戦略目標は以下のとおり。

## •悪質な証券会社などの徹底摘発

個人投資家の利益を犠牲にして自らの利益をあげるような証券会社やその役員・職員など、悪質な市場仲介者の徹底摘発を図る。

## •市場の公正性を損ねる証券犯罪の一掃

相場操縦やインサイダー取引など、多数の個人投資家を欺き、証券市場の公正性を損ねる証券犯罪の一掃を図る。いわゆる仕手筋による大規模な相場操縦についても積極的に摘発する。

## •監視委員会のプレゼンスの向上

また、単に摘発実績をあげるだけでなく、個人投資家のニーズや社会的関心に的確に応えるタイムリーな摘発を、迅速に行うよう努める。さらに、監視委員会の存在自体が、不公正取引の効果的な抑止力となるよう、監視委員会のプレゼンスの向上を図る。

# 態勢整備方針

戦略目標達成のため、以下の態勢整備を図る。

## •人員の増強

戦略目標達成のためには、まず第一に人員の増強が必要であり、関係当局の理解を求めつつ、必要な人員の確保に努める。

## •情報収集・分析能力の向上

市場における様々な動きを迅速かつ的確に把握するため、情報収集・分析能力の向上を図る。そのため、研修などにより内部職員的能力向上に努めるとともに、民間実務経験者を採用するなど外部の英知も積極的に活用する。電算システムの開発により業務の効率化も推進する。

## •関係当局との連携

これまで以上に、金融庁や財務局などと緊密に連携し、効果的な職責の遂行に努める。また、必要と思われる法改正につき金融庁に対し積極的に提言するなど、望ましい制度の実現にも積極的に関与していく。

## •外国当局との連携

金融取引のグローバル化やインターネットの発展のなか、一国だけでは対応できない問題も多い。例えば、インターネットを利用して風説の流布の疑いのある情報を流したり、外国の投資ファンドなどを経由させて相場操縦の疑いのある取引を行う例があるが、こうした取引についても、外国当局と緊密に連携をとることで漏らさず把握していく。

## •個人投資家との連携

委員会ホームページの改善などを通じ、投資家からの積極的な情報提供を呼びかけるとともに、投資家の自衛努力をサポートする態勢を整備する。

# ホームページの刷新

監視委員会ホームページを、個人投資家支援のための戦略的ツールとして位置づけ、利用しやすく全面リニューアル。

## 主な改善点

- 利用しやすいレイアウト
- 投資の際の留意点など、投資家サポート情報の充実
- 委員会によく寄せられる質問とその答えを公開(FAQs)
- 情報受付窓口を充実し、端緒発見機能の向上を図る

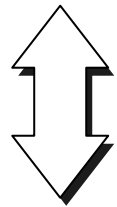
# 新しいロゴマーク

ロゴマーク本体



*"for investors, with investors"*

ホームページ上で、通常の状態では上記のロゴが表示されるが、マウスポインタを重ねると、下のフレーズが現れる。



***an independent  
agency for investors,  
with investors***

（投資家のためにあり、投資家  
とともにある、独立した組織）

•二つの楕円は、監視対象である証券市場と金融先物市場を表現するとともに、監視委員会と、関係当局との連携、海外当局との連携、さらに投資家との連携を表現

•“for investors, with investors”のキャチフレーズは、投資家のためにある、そして、投資家とともにある組織を目指そうとする監視委員会の決意を表現